

# 「バリアフリー不要」が70代で最多

**自** 宅のバリアフリー化を「必要ない」と考えるのは70歳以上が最も多い——。不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズが実施した「自宅

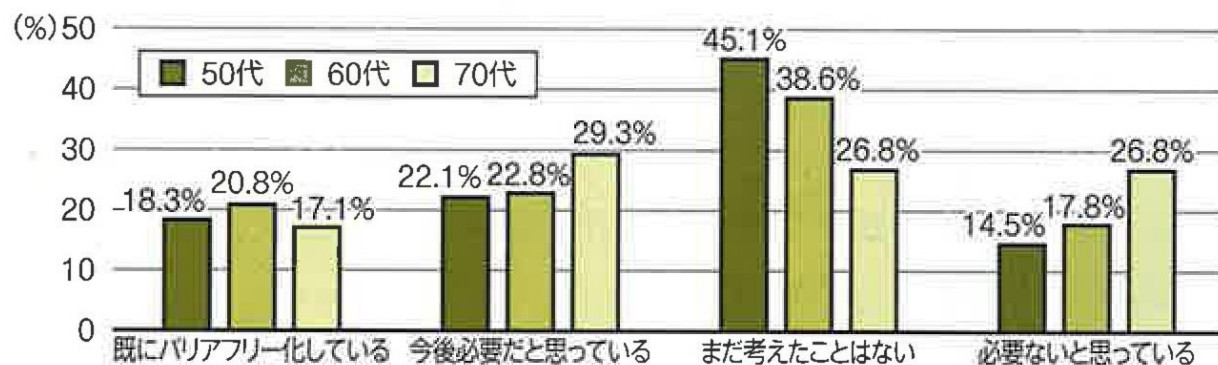
のバリアフリー化」の調査結果でそんな実態が明らかになった。

同調査は「リビンマッチ」を利用した自宅を所有する50歳以上の全国の男女273人を対象にした。

自宅のバリアフリー化について考えたことがあるか否かを聞いたところ、全体の40.0%が「まだ考えたことはない」と回答。50代と60代では、「まだ考えたことはない」が他の回答よりも多くなっていた。70代以上では、「今後必要だと思っている」という回答が29.3%を占めた(図1)。

一方で「まだ考えたことはない」、「必要ないと思っている」と答えた70代以上の人もそれぞれ26.8%に上った。特に「必要ないと思っている」と回答した人は年齢が上がるほど高い傾向にあり、70代以上は50代や60代に比べて多い。(田口 由大=ライター)

【図1】バリアフリーを不要と感じる70代は26.8%



バリアフリー化を「必要ないと思っている」人の割合は、50代の14.5%、60代の17.8%に比べて、70代では26.8%と高くなっている(資料:リビン・テクノロジーズの資料を基に日経 xTECHが作成)

ウェブで関連記事

「バリアフリー化は不要」が70代で最多  
→ [tech.nikkeibp.co.jp](http://tech.nikkeibp.co.jp)で検索